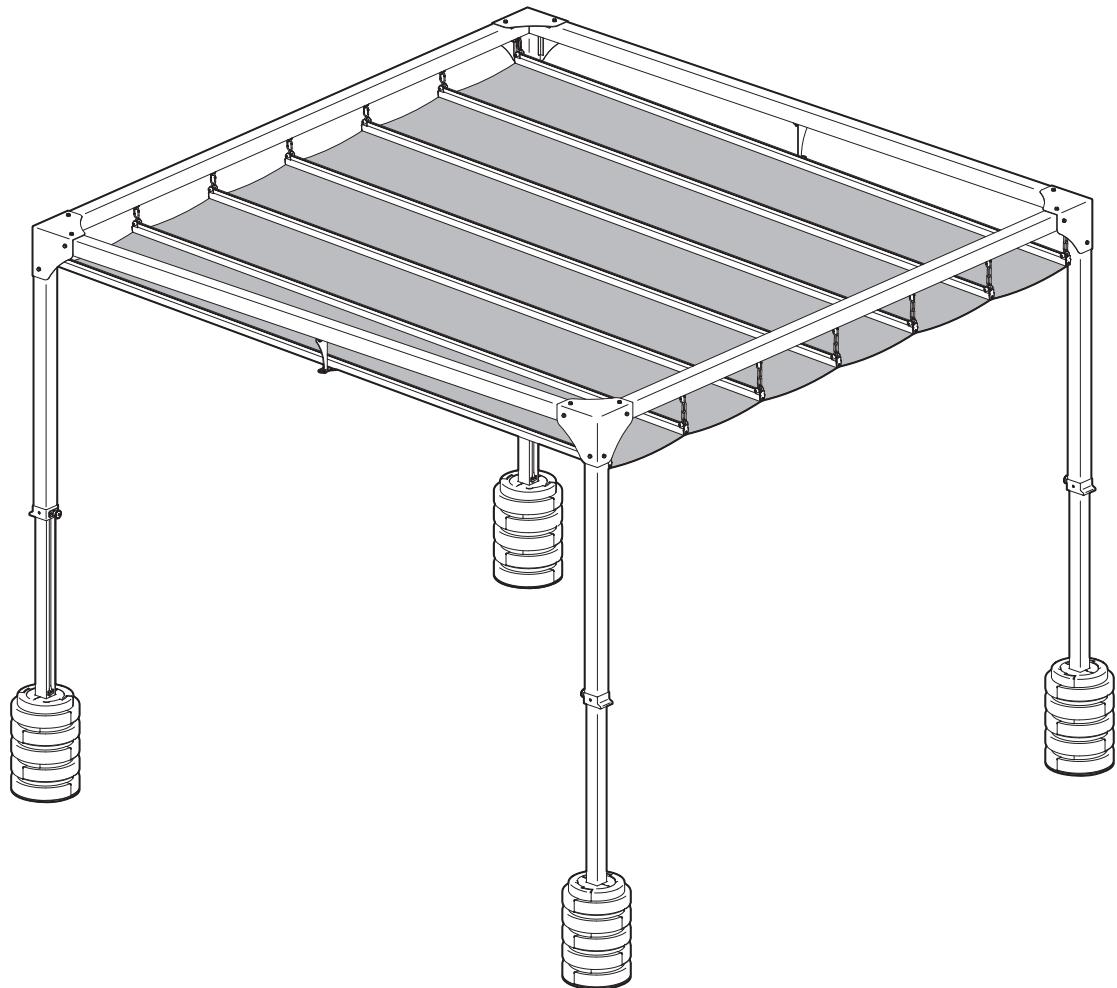




自立型オーニング

リパ一口  
Eタイプ

## 組立説明書

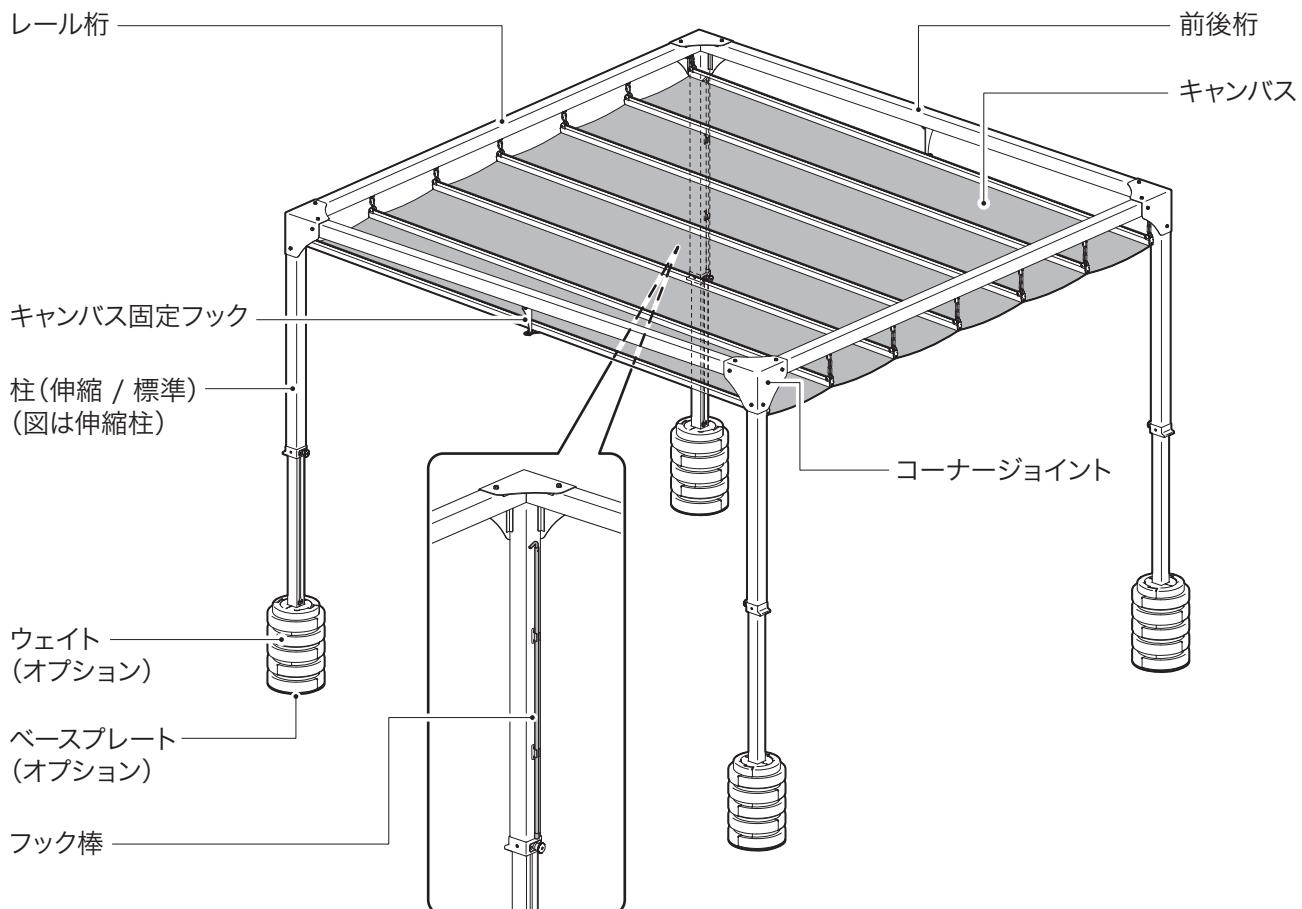


これからのエクステリアを考える タカノEX

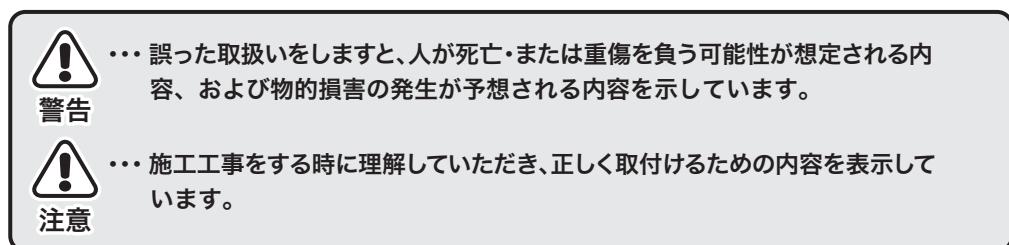
# 各部の名称

このたびは、タカノ 自立型オーニング『リパーコ Eタイプ』をお買上げいただき、誠にありがとうございます。施工工事の前にこの説明書をお読みいただき、正しく取付けをしていただきますようお願いいたします。

## 【各部の名称】

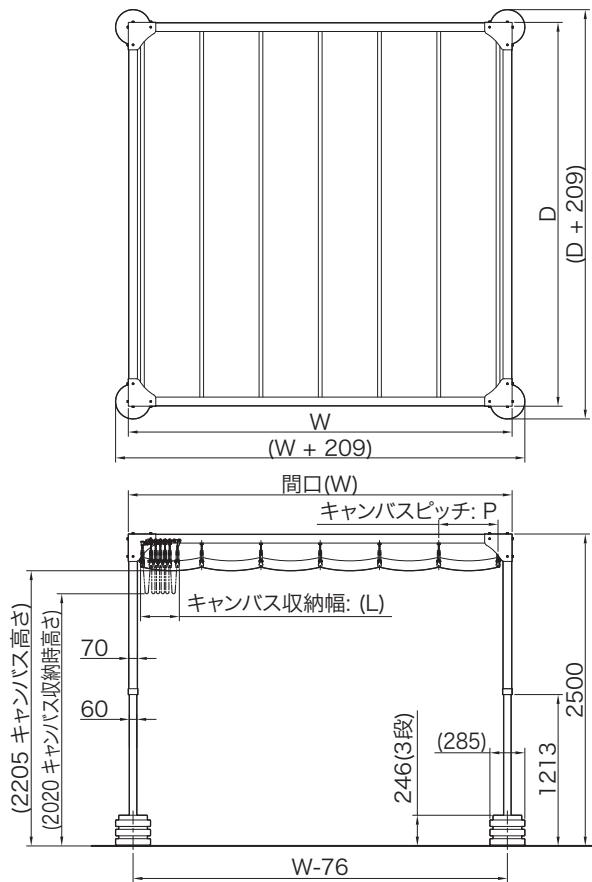


## 【マークの表示について】



# 基本図

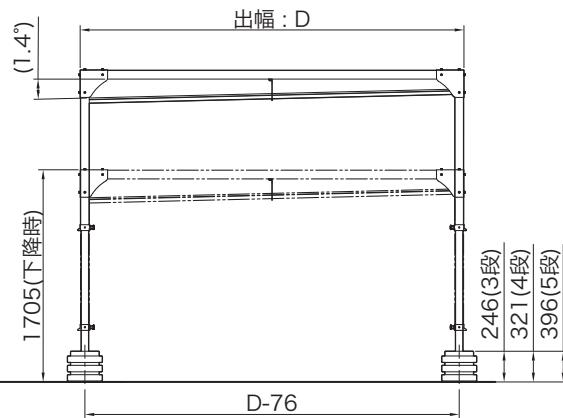
【リパーオ Eタイプ 伸縮柱 基本図】 (単位: mm)



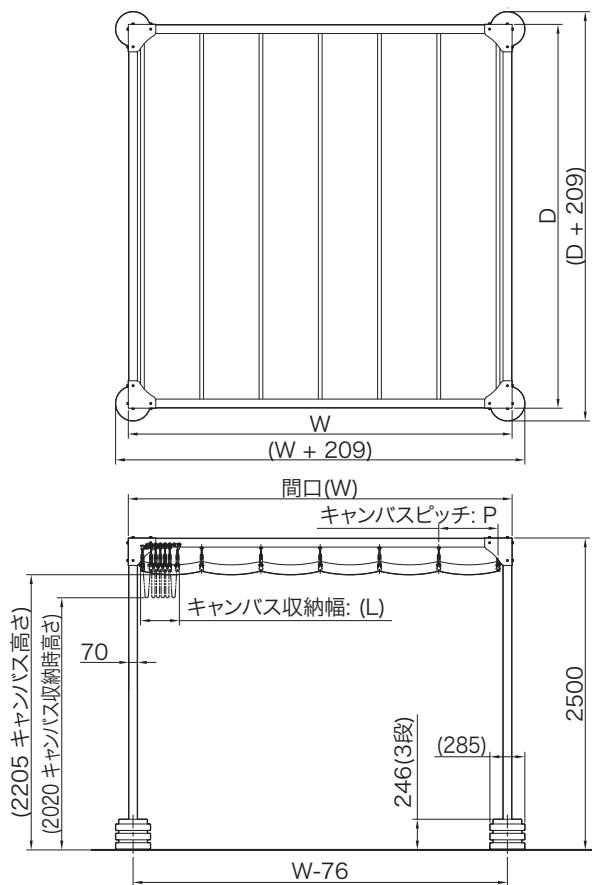
名称	間口	出幅	キャンバスピッチ	キャンバス収納幅
間口(W) x 出幅(D)	W	D	P	(L)
3076 x 3076	3076	3076	475	(311)
4076 x 3076	4076	3076	481	(386)

※ 間口(W): 3076以上はウェイトオプション5段(100kg)柱1本分となります

ウェイト重量 (柱1本当たり)	フレーム総重量 (ウェイト別)
3段 60Kg	W3076 85kg
4段 80Kg	W4076 89Kg
5段 100Kg	



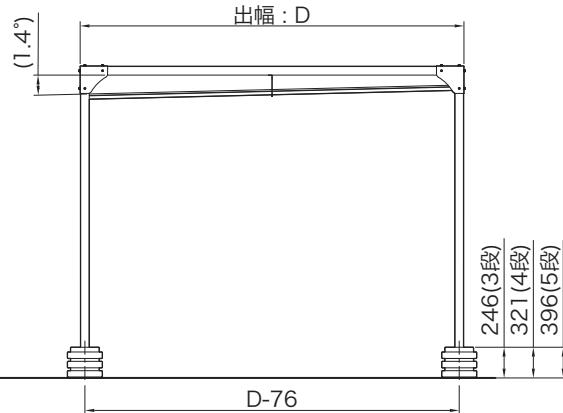
【リパーオ Eタイプ 標準柱 基本図】 (単位: mm)



名称	間口	出幅	キャンバスピッチ	キャンバス収納幅
間口(W) x 出幅(D)	W	D	P	(L)
3076 x 3076	3076	3076	475	(311)
4076 x 3076	4076	3076	481	(386)

※ 間口(W): 3076以上はウェイトオプション5段(100kg)柱1本分となります

ウェイト重量 (柱1本当たり)	フレーム総重量 (ウェイト別)
3段 60Kg	W3076 85kg
4段 80Kg	W4076 89Kg
5段 100Kg	



# 梱包明細

## 伸縮柱セット 1

No.	部品名称	略図	数量	梱包重量
1	伸縮柱		A 1	9.5 Kg
			B 1	
2	フック棒		1	

## 伸縮柱セット 2

No.	部品名称	略図	数量	梱包重量
1	伸縮柱		C 2	9.5 Kg

## 標準柱セット 1

No.	部品名称	略図	数量	梱包重量
1	標準柱		A 1	12 Kg
			B 1	
2	スペーサー <sup>※1</sup>		8	
3	フック棒		1	

## 標準柱セット 2

No.	部品名称	略図	数量	梱包重量
1	標準柱		C 2	12 Kg
2	スペーサー <sup>※1</sup>		8	

## レール桁セット (共通)

No.	部品名称	略図	数量	梱包重量
1	レール桁 (W3076)		2	14 Kg
			2	
2	レール桁 (W4076)		2	16 Kg

## 前後桁セット (共通)

No.	部品名称	略図	数量	梱包重量
1	前後桁		2	10 Kg

## キャンバスセット (共通)

No.	部品名称	略図	数量	梱包重量
1	キャンバス (W3076)		1	21 Kg
2	キャンバス (W4076)		1	23 Kg

## 部品箱 (共通)

No.	部品名称	略図	数量	梱包重量
1	コーナージョイント		4	
2	ボルト	M8x20 Wセムス シルバー	24	
3	キャンバス固定フック		2	
4	ボルト	M8x15 Wセムス 生地	4	
5	カラビナ		1	
6	キャンバス固定ベルト		1	
7	組立用スパナ	対辺13	2	
8	鋸止め剤		1	
9	組立説明書 取扱説明書	—	各1	

## ベースプレートセット【オプション】

No.	部品名称	略図	数量	梱包重量
1	ベースプレート		4	17 Kg
2	ボルト <sup>※1</sup>	M8x20 Wセムス シルバー	8	

## ウェイトセット【オプション】

No.	部品名称	略図	数量	梱包重量
1	ウェイト (10Kg/ヶ)		3段	24
			4段	32
			5段	40
2	ウェイトカバー <sup>※1</sup> (伸縮柱用)		8	—
3	ウェイトカバー <sup>※1</sup> (標準柱用)		8	—

## ゴムマット【オプション】

No.	部品名称	略図	数量	梱包重量
1	ゴムマット <sup>※1</sup> (キズ防止)		4 or 8	—

※1 部品箱入り

# 施工の手順

## 【柱の組立】

- ① 柱をベースプレートに差込み、ボルト(M8x20 Wセムス シルバー)で固定します。(2本x4箇所)  
(ゴムマット(オプション)使用時はP.7参照)



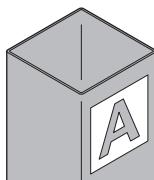
…伸縮柱の場合は、溝がベースプレートの基準穴側になるように差込みます。  
標準柱の場合は、柱識別シールが貼られている面をベースプレートの基準穴側にし、ベースプレートの柱にスペーサーを各2枚当てつけて差込みます。(下図参照)

- ② コーナージョイントを、柱の穴に合わせて差込みます。

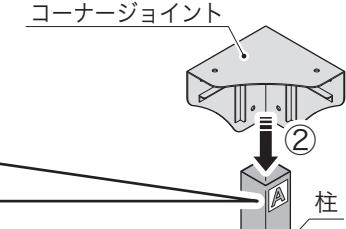


…コーナージョイントの差込み口は、3箇所のどこから差込んでも構いません。

### 【柱識別シールの確認】

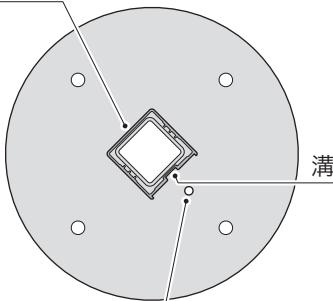


コーナージョイント



柱

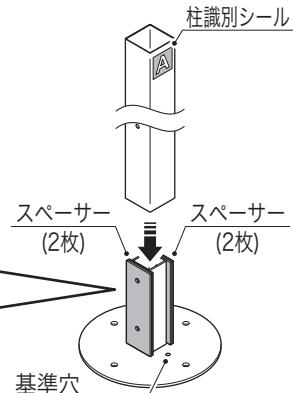
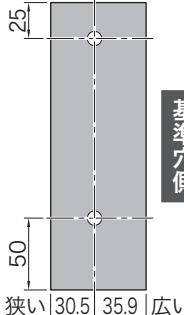
伸縮柱断面



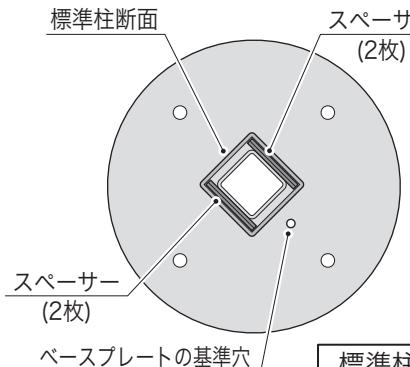
ベースプレートの基準穴

伸縮柱

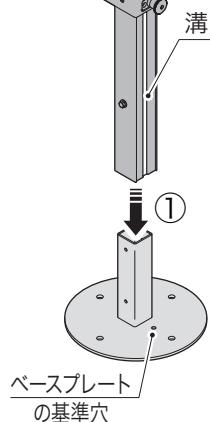
### 【スペーサー取付け方向】



標準柱断面



標準柱



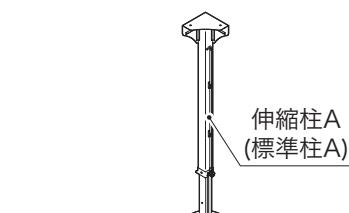
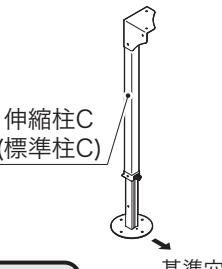
ベースプレートの基準穴

## 【柱の配置】

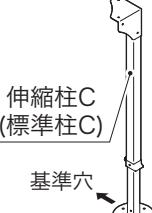
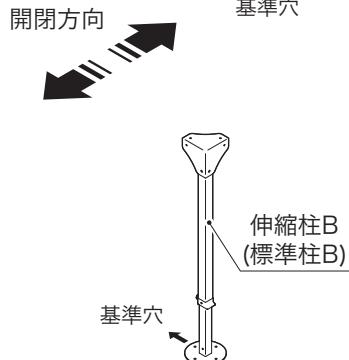
- ① キャンバス収納側を決めます。  
② 図のように、柱(A, B, C)をそれぞれ配置します。



…キャンバス収納側を本図と反対側にする場合は、柱Aと柱Bの配置を入れ替えてください。

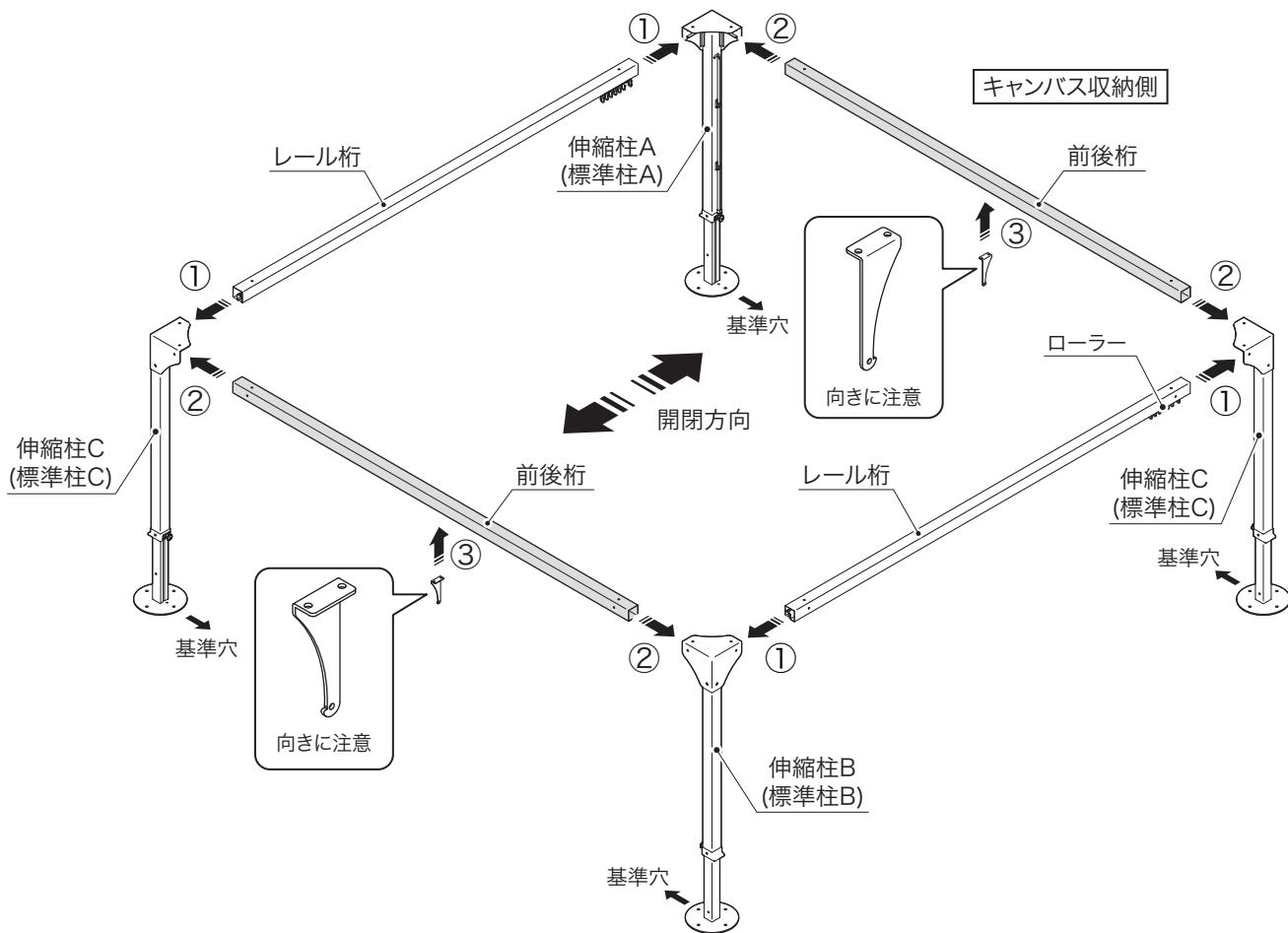


キャンバス収納側



# 施工の手順

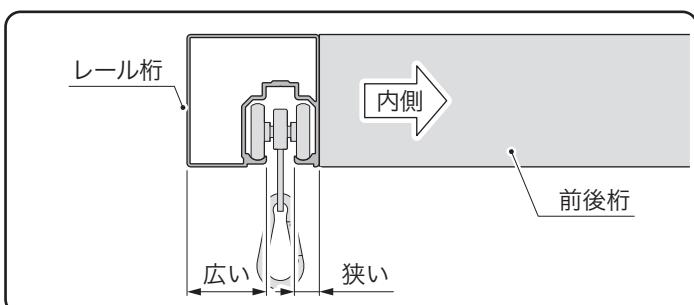
## 【レール枠・前後枠の組付け】



- ① ローラーが組込まれている側がキャンバス収納側になるように、レール枠(左右各1本)をコーナージョイントに差込みます。



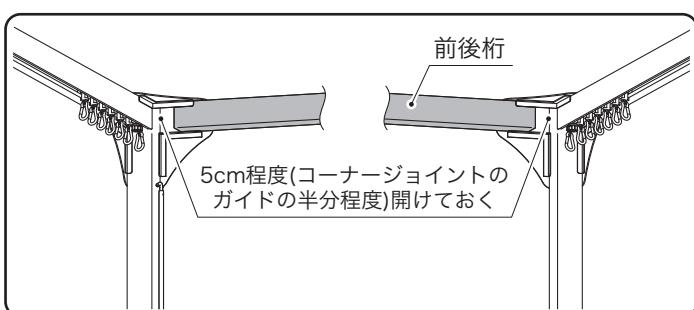
… レール溝から端面までが、狭い方を内側にします。



- ② 前後枠(共通)を、コーナージョイントの穴に合うように差込みます。その後、ボルト(M8x20 Wセムス シルバー)で固定します。(6本x4箇所)



… 先に差込む前後枠は、奥まで完全に差込まず、左右とも5cm程度開けておくと、後から差込む前後枠が差込みやすくなります。



- ③ キャンバス固定フックを、前後枠にボルト(M8x15 Wセムス 生地)で固定します。(2本x2箇所 上図参照)

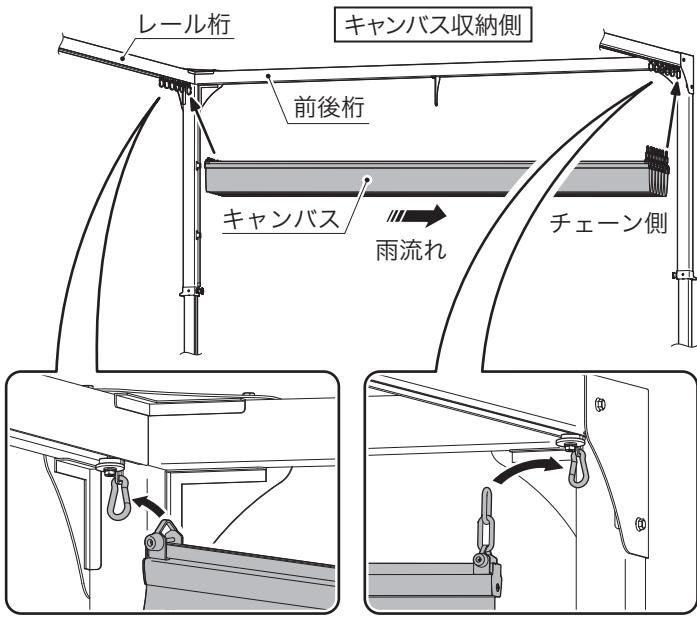
# 施工の手順

## 【キャンバスの取付け】

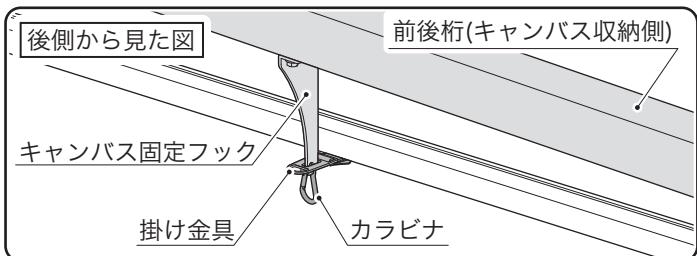
- ① レール桁に組込まれているローラーにキャンバスを取付けます。  
キャンバスのチェーン側が雨流れ側です。



…通常、キャンバスの取付けはキャンバス収納側から行ないます。



- ② キャンバス収納側の掛け金具を前後桁のキャンバス固定フックに引っ掛け、キャンバス固定フックの穴に外れ防止用のカラビナを取付けます。



## 【フレームの昇降】

- ① 持手に手をかけ、ノブを引いてロックを解除し柱を持ち上げます。  
所定の位置になるとノブが戻りロックされます。  
標準位置のシールを目安に持ち上げてください。
- ② 降ろす時も同様の手順で行なってください。



…フレームの昇降は重量のバランスをとるため、キャンバスを張り出した状態で行なってください。



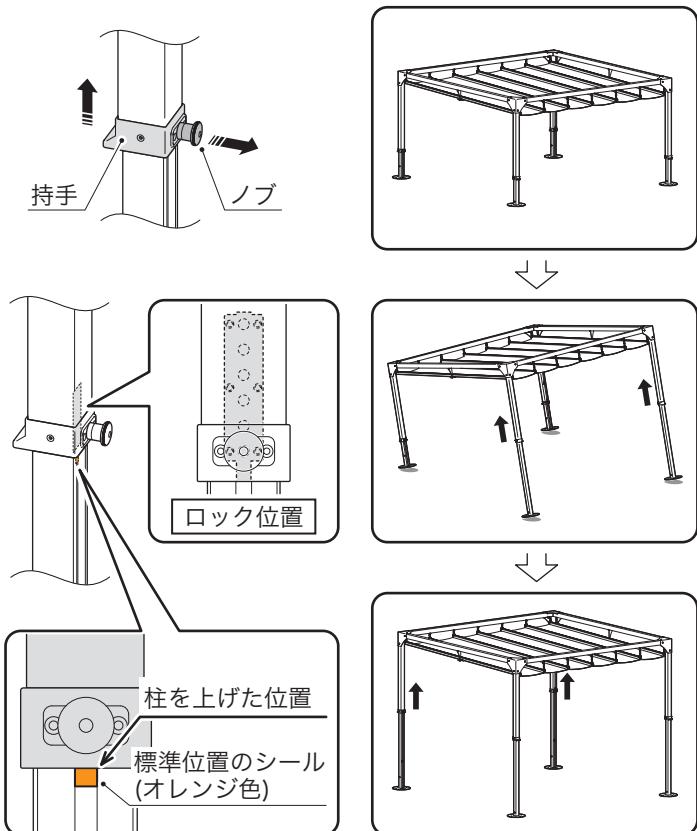
…フレームの昇降は二人で行ない、レール桁をはさんだ2本の柱を同時に操作したのち、残りの2本も同時に操作してください。



…必ずシールが見える位置まで柱を上げてください。シールが見えない位置だと、ロックがかからず危険です。



…勾配地では、各柱の上昇側のロック位置(20mm間隔で6段階)を調節して高さを合わせてください。



# 施工の手順

## 【ウェイトの取付け】



注意

… 本ウェイトは鉄製品です。

塗装が施されてはいますが、錆が発生しますので予めご了承ください。

ぶつけたり擦れたりすると、塗装が剥がれ錆の原因となりますので、取り扱いには十分に注意してください。

錆が気になりましたら、付属の錆止め剤または市販の缶スプレー(艶あり黒)等で補修してください。

① ベースプレートにウェイトを載せます。

このとき、ベースプレートの円形に合わせるように載せてください。



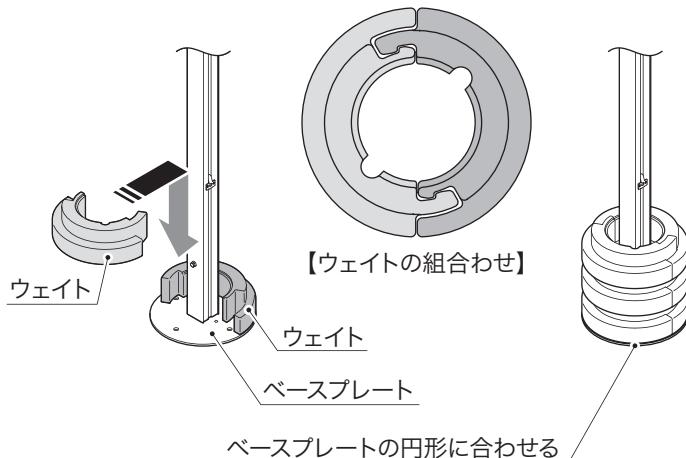
注意

… ウェイトを載せる前に、必ず柱の垂直を確認してください。柱が斜めの状態でウェイトを載せると、フレームの昇降に支障をきたすことがあります。



注意

… ウェイトをベースプレートに合わせて載せないと、ウェイトカバーが取付けられません。



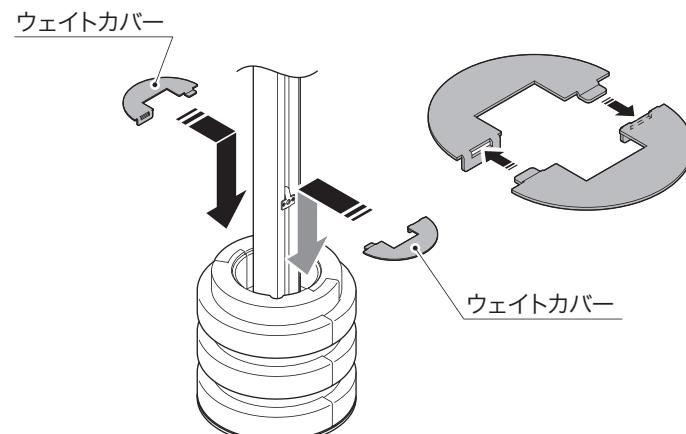
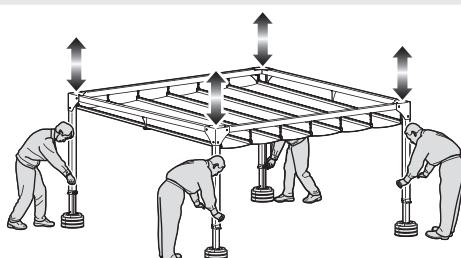
② ウェイトカバーを取付けます。



注意

… フレームの昇降は、ウェイトを取り外した状態で行うか、4本の柱を同時に4人で昇降させてください。

ウェイトを載せたまま片側2本ずつの昇降を行うと、故障の原因となりますのでご注意ください。



## 【ゴムマットの取付け】

① ゴムマットを使用する場合は、ベースプレートを柱に組付ける前の、ベースプレート単体の状態でゴムマットを貼付けてください。

